

鳥取県を応援してくださる皆さんへ

鳥取県の未来を応援してください

鳥取県知事

平井 伸治



平成20年にふるさと納税制度が始まり2年が経ちました。

これまでご寄附いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、皆様の寄附金で子どもたちの読書環境の充実やジュニアスポーツチームの育成、中学校・高等学校の運動部への外部指導者の招聘などを支援することができました。

子どもたちからも「全国大会に行けるように練習をがんばります」、「部活動が一生懸命できる環境を与えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです」、「これからも応援をお願いします」といった感謝の声が届いています。

この制度は、私が有志の知事とともに、地方の厳しい財政状況のなかで地域間格差の解消の一助として、国に制度化を働きかけて実現したものであります。

“大好きな「ふるさと鳥取」を応援したい・力になりたい”、そんな皆さんの想いを「寄附金」の形にしていただき、その寄附金を今年度は県立図書館の「ふるさと納税文庫」の設置、あるいは地域活性化策などにも活用して、鳥取県を元気にしていきたいと考えています。

鳥取県は、「大自然」や「食のみやこ」、そして「ボランティアに関わる人が全国一を誇るハートフルな人々」と多くの魅力にあふれています。また、山陰を舞台とした今年のNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」も全国で人気となっています。

さらに、本県境港と韓国東海・ロシアウラジオストクを結ぶ国際定期貨客航路の発展、山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向けた運動など新しい取り組みも着実に進めております。

是非、ふるさと納税を通じて、これからも鳥取県の未来を応援していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、「寄附金」として応援いただいた皆様に、鳥取県にゆかりのあるものを心ばかりのお礼として、後ほどお送りさせていただきますので、改めて鳥取県に想いをはせていただければ幸いに存じます。

平成22年5月